



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月2日

上場会社名 レシップホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7213 URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 品川 典弘 TEL 058-324-3121
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,914	47.0	300	—	282	—	104	—
2019年3月期第1四半期	3,342	13.2	△414	—	△391	—	△285	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 109百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △243百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	9.24	—
2019年3月期第1四半期	△25.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	13,959	3,432	24.6	302.36
2019年3月期	16,445	3,427	20.8	301.92

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,432百万円 2019年3月期 3,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	8.50	8.50
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	8.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	4.5	1,100	7.7	1,100	6.8	450	2.7	39.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	12,798,200株	2019年3月期	12,798,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,444,759株	2019年3月期	1,444,759株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	11,353,441株	2019年3月期1Q	11,223,088株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さがみられたものの、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方、海外経済においては、米中貿易摩擦の長期化や地政学リスクの再燃が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループにおきましては、2016年度よりスタートいたしました中期5か年計画「CA2020」の重点課題である「MaaSの実現に向けた新しい価値の創造」「育成分野への経営資源のスムーズな移行」「海外ビジネスの黒字化」「業務プロセス改善による生産性の向上」の4つの課題に向けた取り組みに注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、輸送機器事業、産業機器事業ともに好調に推移した結果、売上高は49億14百万円（前年同期比15億72百万円増、47.0%増）となり、第1四半期の過去最高売上高を更新いたしました。

損益面につきましても、売上の伸長などにより、営業利益は3億円（前年同期比7億15百万円増、前年同期は4億14百万円の営業損失）、経常利益は2億82百万円（前年同期比6億73百万円増、前年同期は3億91百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億4百万円（前年同期比3億90百万円増、前年同期は2億85百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となり、大幅に改善いたしました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(輸送機器事業)

当事業の売上高は34億76百万円（前年同期比12億90百万円増、59.0%増）、営業利益は2億68百万円（前年同期比6億54百万円増、前年同期は3億86百万円の営業損失）となりました。

市場別の売上高は、バス市場が28億68百万円（前年同期比12億48百万円増、77.1%増）、鉄道市場が3億74百万円（前年同期比27百万円増、8.0%増）、自動車市場が2億34百万円（前年同期比13百万円増、6.1%増）となりました。

バス市場につきましては、前年度に引き続き、首都圏バス用ICカードシステムの更新需要を背景に、運賃箱やICカードリーダーライタなどの売上が大きく拡大し、大幅な増収となりました。

鉄道市場につきましては、国内において、鉄道用液晶表示器等の販売が増加したほか、海外においても、北米向け鉄道車両用灯具の納入が進み、増収となりました。

自動車市場につきましては、トラック用LED灯具の販売が堅調に推移し、増収となりました。

(産業機器事業)

当事業の売上高は14億27百万円（前年同期比2億82百万円増、24.7%増）、営業利益は44百万円（前年同期比61百万円増、前年同期は16百万円の営業損失）となりました。

市場別の売上高は、電源ソリューション市場が5億75百万円（前年同期比1億25百万円増、27.9%増）、エコ照明・高電圧ソリューション市場が1億23百万円（前年同期比50百万円減、28.8%減）、EMS市場が7億28百万円（前年同期比2億7百万円増、39.7%増）となりました。

電源ソリューション市場につきましては、国内大手CATV（ケーブルテレビ）事業者様向けにCATV基地局用無停電電源装置の納入が進んだほか、バッテリー式フォークリフト用充電器やAGV（Automated Guided Vehicle：工場や物流倉庫等で導入が広がりつつある無人搬送車）用充電器等の販売も堅調に推移し、増収となりました。

エコ照明・高電圧ソリューション市場につきましては、前年同期にごございましたコンビニエンスストアの店舗看板の掛け替えが一段落したことに伴いLED電源の販売が減少したほか、燃焼器具用変圧器やネオン変圧器等の高電圧電源の販売も減少したため、減収となりました。

EMS市場につきましては、自動車の電子制御化が進むなか、引き続き、連結子会社レシップ電子株式会社で、自動車向けプリント基板実装の受託が大きく拡大し、増収となりました。

(その他)

当事業の売上高は10百万円、営業利益は1百万円となりました。事業の内容は、主としてレシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、139億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億86百万円減少いたしました。

主な要因は、商品及び製品が5億59百万円、仕掛品が2億39百万円、原材料及び貯蔵品が1億85百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が27億53百万円、現金及び預金が7億53百万円減少したこと等によるものであります。

負債は105億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億91百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が2億5百万円増加した一方で、短期借入金が11億91百万円、未払法人税等が4億69百万円、未払金が3億97百万円、賞与引当金が3億9百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億6百万円、長期借入金が90百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は34億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。主な要因は配当金の支払いにより利益剰余金が1億4百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1億4百万円増加、その他有価証券評価差額金が5百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日の決算短信にて公表しました予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,224,042	1,470,333
受取手形及び売掛金	6,925,621	4,171,875
商品及び製品	1,386,176	1,945,459
仕掛品	732,530	972,185
原材料及び貯蔵品	1,318,307	1,503,483
その他	524,838	571,897
貸倒引当金	△70	△30
流動資産合計	13,111,446	10,635,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	834,786	829,606
その他(純額)	801,445	807,528
有形固定資産合計	1,636,232	1,637,135
無形固定資産		
	480,228	592,330
投資その他の資産		
投資有価証券	608,504	597,081
その他	666,728	554,790
貸倒引当金	△57,150	△56,850
投資その他の資産合計	1,218,082	1,095,022
固定資産合計	3,334,543	3,324,488
資産合計	16,445,990	13,959,692
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,081,109	2,286,429
電子記録債務	1,888,426	1,835,959
短期借入金	4,235,408	3,043,929
1年内返済予定の長期借入金	584,569	477,894
未払法人税等	491,859	22,517
賞与引当金	467,365	158,030
製品保証引当金	87,948	95,160
受注損失引当金	281,477	242,609
その他	1,667,469	1,221,408
流動負債合計	11,785,634	9,383,940
固定負債		
長期借入金	463,232	373,166
従業員株式付与引当金	136,949	142,717
役員報酬BIP信託引当金	91,753	91,753
退職給付に係る負債	31,690	33,140
その他	508,876	502,179
固定負債合計	1,232,501	1,142,955
負債合計	13,018,136	10,526,895

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,645	735,645
資本剰余金	747,580	747,580
利益剰余金	2,253,810	2,253,820
自己株式	△599,330	△599,330
株主資本合計	3,137,704	3,137,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,559	138,796
為替換算調整勘定	156,589	156,285
その他の包括利益累計額合計	290,148	295,081
純資産合計	3,427,853	3,432,796
負債純資産合計	16,445,990	13,959,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,342,449	4,914,813
売上原価	2,892,205	3,687,898
売上総利益	450,243	1,226,914
販売費及び一般管理費	865,199	926,089
営業利益又は営業損失(△)	△414,956	300,824
営業外収益		
受取利息	3	70
受取配当金	5,457	4,872
為替差益	6,377	—
受取補償金	16,446	—
その他	3,158	2,255
営業外収益合計	31,441	7,199
営業外費用		
支払利息	6,777	10,225
為替差損	—	13,407
債権売却損	55	73
その他	1,341	2,008
営業外費用合計	8,175	25,715
経常利益又は経常損失(△)	△391,689	282,308
特別利益		
受取和解金	14,238	—
特別利益合計	14,238	—
特別損失		
減損損失	—	18,322
固定資産廃棄損	83	269
投資有価証券評価損	—	19,920
特別損失合計	83	38,511
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△377,533	243,796
法人税、住民税及び事業税	5,942	27,758
法人税等調整額	△97,874	111,119
法人税等合計	△91,931	138,877
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△285,602	104,918
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△285,602	104,918

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△285,602	104,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,231	5,237
為替換算調整勘定	26,916	△304
その他の包括利益合計	42,148	4,932
四半期包括利益	△243,453	109,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△243,453	109,851
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この変更による当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,186,058	1,145,305	3,331,364	11,085	3,342,449
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,186,058	1,145,305	3,331,364	11,085	3,342,449
セグメント利益又は 損失(△)	△386,703	△16,222	△402,926	1,705	△401,220

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△402,926
「その他」の区分の利益	1,705
全社費用(注)	△13,735
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△414,956

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,476,088	1,427,878	4,903,967	10,845	4,914,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,476,088	1,427,878	4,903,967	10,845	4,914,813
セグメント利益	268,220	44,915	313,135	1,847	314,983

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	313,135
「その他」の区分の利益	1,847
全社費用(注)	△14,158
四半期連結損益計算書の営業利益	300,824

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、18,322千円の減損損失を計上しております。